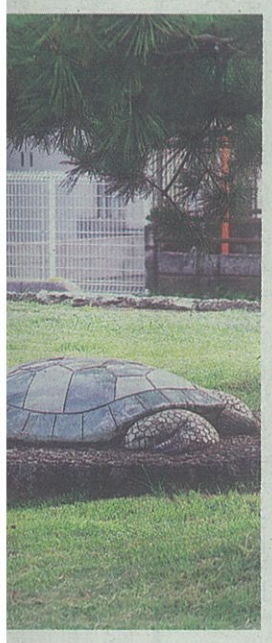
毎週月曜日発行・定価50円）

広告のことならお任せ下さい
読者と共に歩む
東武よみうり新聞社
越谷市蒲生茜町3-9
☎048(987)0611㈹
FAX(987)0614

読者と共に歩む
東武よみうり
週刊
THE TŌBU YOMIURI SHIMBUN 第1975号
2018年（平成30年）7月23日（月）
発行所
東武よみうり新聞社
〒343−0843
埼玉県越谷市蒲生茜町3−9
電話 (048)987−0611
Fax (048)987−0614

介護用品・レンタル・販売・住宅リフォーム
訪問介護サービス
人の和 地域の輪を大切に
福祉のニッカ
専門相談員が心のこもった相談に応じます
0120-002940
介護保険指定事業者
日科ミクロン株式会社
福岡・大阪・東京・千葉・三郷（早稲田・彦成）・仙台・札幌



乗せて

の2体の亀の石像。

い彫像を……との問
亀の彫像であった」

越谷線（旧日光街道）
農業用水が流れてい
、水中には、多くのナ
亀が見られたという。
る亀は海亀だが、記
中では、確かに亀は
背景にして描かれて
の発案者も、松並木
ージがあったのだろ

ウガメなど子どもた
できる亀はいるが、
いかない。松並木と
、亀の石像に未来に
て、竜宮城のような
……そんなせめても
ない。

地元出身力士「阿炎」と「彩」をテーマに製作された田んぼアート

越谷 田んぼアート見頃

今年は大相撲「阿炎」と「彩」

市制60周年、ガーヤちゃんも

越谷市増森の水田に登場した「こしがや田んぼアート」が今、見頃を迎えている。色とりどりの稲で田んぼに絵を描くイベントで今年9回目。

今回のモチーフは、同市出身の大相撲の力士「阿炎（あびせ）関」（幕内）と「彩（いろり）」（幕下）。両力士のしこ名と見事な力士絵が田んぼに浮かび上った。また、同市の市制60周記念をシンボルマークでアピールし、越谷特別市民「ガーヤちゃん」も描かれている。

阿炎関は今年1月に新入幕し、5月場所では、横綱・白鵬を破り、初の「金星」を挙げ、今月12日の名古屋場所でも横綱・鶴竜を破る活躍ぶり。

この「田んぼアート」は、2010年から「こしがや田んぼアート実行委員会」が実施しており、約100㍍四方の田んぼに、色彩の異なる複数の稲を作付けし、文字や絵柄を表現している。市民が田植えから収穫までの体験を通して、農業や農地に対する理解を深め、地域活性化を図るのが狙い。

田んぼアートの見頃は7月中旬から8月中旬。隣接の「東埼玉資源環境組合第一工場」の展望台から見ることができる。同展望台は月曜から金曜の午前9時から午後4時30分まで受け付け、午後5時まで公開している。7月29日と8月の毎週土・日曜は午前9時から午後4時まで受け付け、午後4時30分までの公開となる。

稲刈りは9月下旬から10月上旬を予定している。

＜問い合わせ＞越谷市観光協会☎971・9002。

〝理科の面白さ〟伝え10年

「吉川さいえんすクラブ理科教室」

元教授ら、小学生を指導

通算100回開催 卒業生2800人

ゲーム感覚で楽しく

発電式のミニ自動車の仕組みや原理を楽しく学ぶ子どもたち（吉川市民交流センターおあしすで）

理科離れをなくせ――と吉川市内の小学生対象に、「吉川ロータリークラブ」や元文教大学教育学部教授の山田陽一さん（72）（同市中曽根）らが運営する「吉川さいえんすクラブ理科教室」が14日、100回目を迎えた。2008年7月にスタートしたが、モーターを使ったミニカー作りや磁石によるゴルフゲームなどの遊びを取り入れ、物の原理や仕組みを分かりやすく教えてくれると、子どもたちに大好評。これまでに約2800人が〝卒業〟した。14日には、100回目の記念教室が開かれたが、山田さんらは「これからも、未来の日本の技術を支える子どもたちを応援したい」と意欲を燃やしている。

同ロータリクラブ（尾ヶ井實会長）と山田さんらがボランティアで運営している理科教室は、同市と同市教育委員会の共催で、年間10回開催している。

14日、同市市民交流センター「おあしす」セミナールームで開かれた記念教室のテーマは、「手回し発電機で車が走る」。小学生27人が参加した。

まず、山田さんが電気のできる仕組みを説明し、電流の流れ方やコンデンサーで電気をためる仕組みなどを教え、その後、子どもたちは市販のキットを利用して、車の製作に挑戦した。

長さ約10㌢、幅約5㌢のプラスチック製の板にモーターとプロペラ、4つの車輪をつけ、手回し式の発電機をつなげて走るもの。車体中央に小型蓄電器の「コンデンサー」を接続して電力をため、電源のオンオフもでき、車体前部のプロペラを回して風力で走行する。

一人1台ずつ完成させた後、机を2つ並べた〝簡易レース場〟で、停止線にどこまで接近して止まれるかを競う「チキンレース」を楽しんだ。「発電機のプロペラを何回、回すか」がミソ。回し過ぎると多く発電し、車は机から勢いよく転落してしまい、回し方が少ないと電力不足で途中で止まってしまう。

こうした遊びを通じて、子どもたちは電気やモーターの仕組みを学んでいた。

橋田知咲希さん（6）（同市立美南小1年）は「車を作るのは難しくないけど、発電機を何回回したらいいかが分からず、何度も車が転落した。とても面白い」と笑顔で話し、梶山陽音（はると）君（8）（同3年）は「4回目の参加。家に帰っても挑戦したい」と目を輝かせていた。

元吉川小学校校長で、理科教諭を目指す学生たちに教えていた山田さんは「理科を好きになってもらおうと始めて、あっという間の10年。子どもたちと接するのが楽しくて、自分も元気になれる。まだまだ続ける」と話す。

「さいえんすクラブ」事務局長の鈴木康雄さん（66）は「本来、理科は面白くて楽しいもの。今後も20年を目指して頑張りたい」と言い、尾ヶ井会長（66）は「理科離れをなくそうはクラブのテーマ。継続していきたい」と話している。

次回発行は8月6日

松原手帳

この暑さを何と表現すればよいのかと、歳時記をめくると、「炎昼（えんちゅう）」の言葉に出会った。炎天の「炎」と、真昼の「昼」を合成した季語。真夏のやけにのみ込まれた警察官の息子を必死で捜す父親……。気象庁が異例の記者会見で豪雨災害を警告した5日、政府首脳らは〝赤坂自民亭〟とやらで、酒盛りだったという◆＜時によりすぐれば たみのなげきなり＞と鎌倉三代将軍、

警察、市役所職員らが「万引き防止」などPR

越谷レイクタウンで

〝防犯意識〟の向上図る

越谷警察署は10日、越谷市レイクタウンの「イオンレイクタウンkaze」1階光の広場で、「万引き防止」キャンペーンを行った。同署員のほか、越谷市役所職員、同市防犯協会職員ら計13人が参加した。

キャンペーンでは、来店客に、万引き防止や振り込め詐欺などの特殊詐欺被害防止に関する啓発品やリーフレットを配布して＝写真＝、市民に防犯意識の向上を訴えた。

三郷市斎場・谷塚斎場
八潮セレモニーをご利用のお客様に
お通夜・忌中おもてなし料理人気No1!!
大切なお客様へのお・も・て・な・し
やっぱりおいしい料理でなくては!!
配膳・数量・低予算お任せ下さい!!
頼んで安心！親切・丁寧！係員がすぐにお訪ねいたします！
直接橋本家へお電話を!
0120・841・024
病院からのお電話で橋本家から
葬儀屋さんの準備・手配をいたします
割烹・冠婚葬祭仕出し専門店
97年の伝統！橋本家本店
配膳急募 30代〜40代の方活躍中！土・日・祭日可能な方
越谷市大成町7-171-1 ☎048-986-0171㈹

東武よみうりは読売新聞の購読者に無料